



創立35周年行事について

○記念行事

3月10日(土)として楽しい会を計画しています。縦割りのチームでゲームの対抗戦をします。

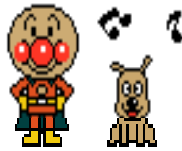
○35周年を祝う会

- 1. 日時 3月25日(日) 19:00~21:00
- 2. 会場 エルシー
- 3. 会費 男性6000円 女性5500円
- 4. 内容
想い出を語る お話とスライド
松田監督を偲ぶ エピソード 愛唱した歌
夢を語る

12・2・19(日)
南NEWS NO67

たくさんの方のみなさんの参加で素敵な会にできたらと思います。
南のアンパンマン

藤野招待 少女 準優勝!! 11・2・11



(グループリーグ)

南八王子 対 南ヶ丘 4-1 (前半3-0)

○テーマ 状況判断 (グラウンドコンディションでやり方を変える)、ゴールを狙う
得点者 片寄優さん(2)、大塚さん、漆間花さん

霜が融け出して、グラウンドコンディションが心配だったので、そのコンディションによって、ドリブル中心で戦うのか、パスを多用するのかを自分たち考えるように指示しました。その心配はあまり必要なく、ドリブルを中心に南らしい攻撃が展開できました。課題はパス。味方の位置は見えているのかもしれませんが、相手の位置・距離・スピードが見えていないパスが多く、カットされることが多かったように思います。

守備は小沢美さんを中心にバランスよく守れたと思います。また久しぶりにキーパーをやった伊藤瑚さんのキャッチングもとても安定していました。



GAMBAった5年生以下の7人

南八王子 対 つくい中央 5-1 (前半2-0)

○テーマ パスをつなぐ、ゴールを狙う

得点者 片寄優さん(4)、漆間花さん

この試合ではコンビネーションから多くの得点が生まれました。まず左サイドを突破した漆間花さんの左からのブルバックを片寄優さんが綺麗に合わせ、次は左サイドを突破した片寄マさんの左からのブルバックにまたしても片寄優さんが合わせました。片寄優さんと漆間花さんとのワンツーからの得点やスルーパスからの得点も見事でした。パスの精度は1試合目より改善したと思います。

南八王子 対 シルクロード 4-1 (前半0-1)

○テーマ ディレイ、精度の高いパス、自分で突破する

得点者 片寄優さん(2)、伊藤瑚さん、大塚さん

低学年を中心にスタートした前半はカウンターからの失点してしまいましたが、多くの攻撃が見られました。シュートだけが少し弱く得点にはなりませんでしたが、後半、高学年を投入すると試合内容はガラッと変わります。後半1分に漆間花さんのコーナーキックを見事に合わせたのは伊藤瑚さん。さらにその5分後には伊藤瑚さんから絶妙なスルーパスが片寄優さんにつながり逆転のゴールにつながりました。

伊藤瑚さん大活躍の3試合目でした。

グループリーグを全勝で1位突破し、決勝へ進出を決めました。



(決勝)

南八王子 対 SHガールズ 0-0 PK:0-3

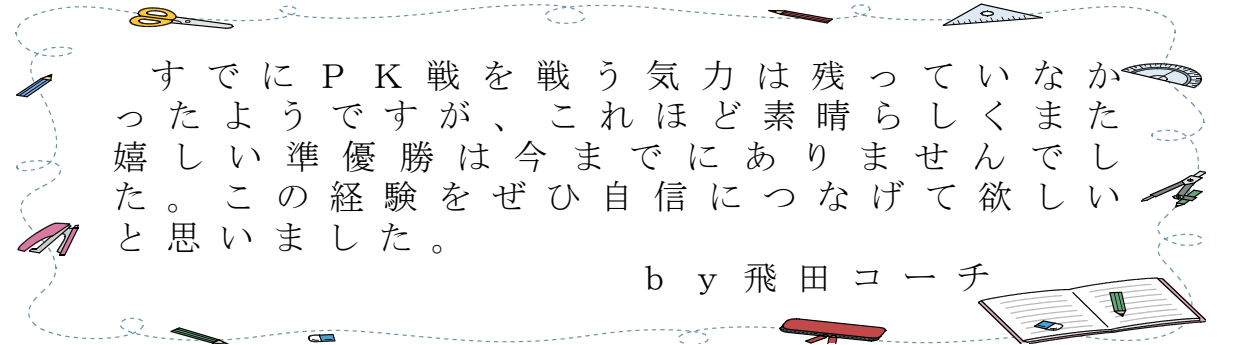
○テーマ 守備のバランス、積極的なシュート

さて決勝ですが、6年生とエースの片寄優さんはいません。なぜかというところから新春フットサルの決勝戦へ出場するために八王子へと先に帰ったからです。残った選手は1年生の小沢叶さんを含めても7名。一人足りない状況で戦うことになりました。試合まえに注意したのは、まず守備のバランス。3バックの小沢美さん、大塚さん、片寄マさんは攻撃が大好きですから、チャンスがあれば前に出てしまいます。そこを抑えて、攻撃参加は1名まで。守備は常に2名を残すように指示します。さらに高学年のようにパスを使えるようなサッカーは出来ませんので、最初からパスを封印して、自分で突破してシュートで終わることを2つ目の指示としました。

前半はこのゲームプランがズバリ当たります。ほとんどの時間、相手にボールを支配されますが、決定的なシュートを打たせない守備ができました。2人のMFの辻内さん、山宮さんは走り回り相手にプレッシャをかけ続けて、自由に攻撃をさせませんでした。小沢叶さんも大きい相手を怖がることなく、ボールを追いかけました。そしてボールを奪えば、片寄マさんや大塚さんがしっかりとボールキープをしながらドリブルで突破し攻め上がります。ただしさすがにシュートまでは打たせてもらえませんでした。

後半も全く同じやり方で試合に臨みました。開始早々に小沢美さんが左サイドとドリブル突破で駆け上がり、角度のないところからシュートを打ちましたが、惜しくもサイドネットでした。

そして徐々に体力が続かなくなります。残り5分間は前の3人の足が完全に止まり、DF3人が必死守ってクリアをしてもそのボールをほとんど拾えなくなり、数えられないくらいの相手のシュートを受けてしまいます。そのゴールを死守してくれたのがキーパーの矢久保さん。神がかったようなファインセーブを繰り返し、決してゴール許しませんでした。ゴールポストやクロスバーにも救われましたが、なんと7人で守りきってしまいました。



すでにPK戦を戦う気力は残っていませんでしたが、これほど素晴らしくまた嬉しい準優勝は今までにありませんでした。この経験をぜひ自信につなげて欲しいと思いました。

by 飛田コーチ